



北足柄小学校学校だより

やま桜

令和2年6月5日
南足柄市立北足柄小学校
第3号
校長 藤澤 恭子

学校再開に、感謝！

6月1日（月）から、子供達の笑顔が、学校にもどってきました。
白い紫陽花が優しく子供達を迎え、50年以上北っ子を見守ってきた
二宮金次郎さんの像も嬉しそうです。

- ♥ 子供達が登校をする時、歩きやすいようにと、学校の横の通学路や校門周りの草を丁寧に取ったり
 - ♥ 思いっきり体を動かすことができるように、運動場や校舎周りの草を刈ったり
 - ♥ 気持ちよく安全に使えるように、トイレや水道周りを清掃・消毒したり
 - ♥ フィジカルディスタンス（身体的距離）を確保するために机等、教室や廊下を整備したり
- 給食の調理員さん、庁務員さん、ボランティアの方々、教職員みんなで準備をして、子供達を待っていました。
子供達に会えたことに、感謝です！
そして、長期にわたる臨時休業措置の間のご家庭でのご協力に、心より感謝申し上げます。



「感染拡大を予防する新しい生活様式」を学校でも実践しながら、感染予防に努めてまいります。
ご家庭におかれましても引き続き、健康観察・検温、手洗い・うがい・手指消毒、抵抗力を高める（十分な睡眠・バランスのとれた食事・生活リズムの見直し）、三密（密閉・密集・密接）を避ける、咳エチケット（マスク着用）等をお願いいたします。
また、デマ情報にふりまわされないよう、偏見や差別につながる行為はしないようお願いいたします。

6月4日（木）の朝、全校放送で、児童指導担当から、

「……いろいろな変化があって、ストレスがたまって、身体や心が疲れてしまうこともあるでしょう。一人で悩みを抱え込まずに、先生や家族など周りの大人に相談してください。……また、友達から相談を受けて、自分一人では支えきれないと感じた場合は、信頼できる大人に相談してください。先生達は、みなさんの不安な気持ちに寄り添いたい、支えになりたいと心から思っています。通常の学校生活ができるようになるまで、焦らずに、一緒に歩いていきましょう。」

というメッセージを子供達に送りました。

長期にわたる臨時休業措置を経て、学校生活が再開されました。子供達にとって、生活のこと、学習のこと、友達のこと等、不安に思うことは当たり前です。

どうぞご遠慮なくご相談くださいますようお願いいたします。

内山バス停 ふれあい花壇



1年間に2回、6月頃と11月頃に、内山福祉会のご指導の下6年生が、内山バス停にあるプランターの花の苗の植え替えを行っています。今年の6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子供達の参加を見合わせ、内山福祉会の皆様のみで行っていただきました。心がこもったプランターの花々に、元気をいただいています。内山福祉会の皆様、ありがとうございました。

感染拡大を予防する新しい生活様式の実践・感染予防対策

厚生労働省・文部科学省・神奈川県教育委員会等から出された要項や、学校医の助言等をもとに、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい生活様式」の実践や感染予防対策を学校でも行っています。

北足柄小学校の場合、少人数なので密集になることは少ないと思われませんが、人が複数で活動する場であることには変わりはありません。感染リスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるように、手洗い・三密（密閉・密集・密接）の回避、咳エチケット（マスク着用）等の指導に努めていきます。

また、校内の衛生環境の整備にも努めていきます。お気づきのことがありましたら、ご連絡いただきますようお願いします。

※感染予防対策と合わせて熱中症予防対策にも取り組んでいきます。



登校時、
教室に入る前に、
健康観察
カードを
確認



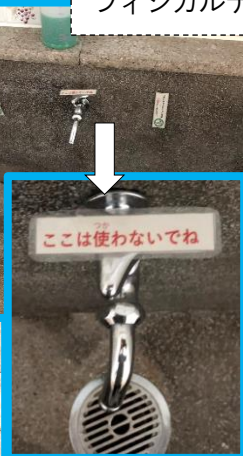
6月1日(月)の朝、
2~4年生と5・6年
生それぞれに、養護
教諭から感染予防
対策について具体
的に説明



フィジカルディスタンス（身体的距離）を確保



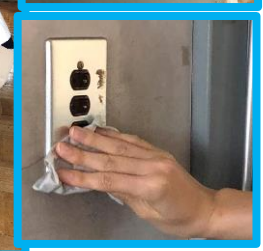
水飲み場



トイレの
出入り口



消毒



田んぼを見学



長期にわたる臨時休業・午前日課等の関係で、今年度の北っ子米作りは、5年生のみ主に見学という形で学習することとなりました。米作りの協力者の皆様には全面的なご支援をいただくことになり大変申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



今年度のざる菊の苗植えは、臨時休業中に、教職員で行いました。子供達と一緒に育てていきます。秋の開花が楽しみです。

「オンライン学習モデル校」としての取り組み

南足柄市教育委員会の依頼で、5月21日（木）にタブレットを一人一台配付し、オンライン学習モデル校として取り組んでいます。ご家庭におかれましては、タブレットの操作や時間・場所等のご協力をいただき、誠にありがとうございます。子供達には、前向きに取り組んでいただき、本当に感謝しています。

長期にわたる臨時休業措置の中、zoomを使ってLTEモデルのタブレットの画面に、子供達の元気な顔が映し出されたときは、感無量でした。子供達と繋がることができた喜びや安心感をもたらすICT（情報・通信・技術）機器のすばらしさに感動しました。

臨時休業中は、zoomを使って午前8時20分に全校（児童・職員）で朝の会を行いました。担任から名前を呼ばれると、元気よく手を挙げて返事をしていました。

きょうも あしたも あなたは
たくさんの ドアを あけていく
そのむこうに
たくさんのよろこびが まっている

『たくさんのドア』文：アリスン・マギー 絵：ユ・テウン

←オンライン朝会で、子供達に紹介した文章です。子供達と一緒に、オンライン学習という新しいドアを開けました。そのドアの向こうにある喜びをたくさん見つけていきたいです。

オンラインの授業では、子供達は、タブレットの画面の向こうの友達や先生に分かるように、説明の仕方や言葉の選び方を工夫して話していました。意図や思いや心を伝えようと、話し方を工夫することで、言葉が磨かれ、言語による表現力が高められているように思われました。

私達は、対面でやり取りをする場合、互いの表情や身ぶり手ぶり等様々な方法を総合してコミュニケーションを取っています。それも大切なコミュニケーション能力です。ただ、言葉以外のコミュニケーションの力に補ってもらっているため、言語による表現力の向上が常に図られているかという点、そうでもない場合もあります。

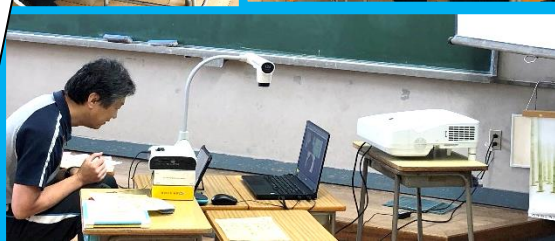
今回オンラインの授業を行う中で、子供達も教師も、自然にお互いを思いやり、言葉を大切にしながら学習をすすめることができました。

また、教師にとっては、限られた条件の中で、指導内容を明確にして教材や発問等を工夫しながら授業づくりをする等、授業研究としてもよい機会をいただいたと感じています。



心を、言葉を、「受け取る」「応える」「つなぐ」を大切にしながら、オンライン授業に臨みました。

タブレットで、教科書のQRコードを読み込んで出てくる動画や音声による学習を説明



5月28日（木）は、神奈川新聞の取材があり、翌日「#学びのかたち」欄で北足柄小学校のオンライン学習が紹介されました。同日、南足柄市長様、教育長様が来校し、オンライン学習に参加してくださいました。

また、市内の小中学校や県西教育事務所足柄上指導課から、オンライン学習の参観がありました。

※ご家庭での学習方法としてICT（情報通信技術）を活用する機会が多くなっているかもしれません。家族できちんと話し合っ、ルールを決める、それを実行し、さらに振り返りをする事で、子供達をネット依存・被害等から守っていただくようお願いいたします。

※ 北足柄小学校ホームページでは、学校便利等をカラーでご覧いただけます。